

(様式第4号)

## 第5回真田地域協議会 会議概要

|   |           |  |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名      | 真田地域協議会  |
| 2 | 日 時       | 平成21年8月24日(月) 午後7時00分から午後9時00分まで   |
| 3 | 会 場       | 真田地域自治センター 301会議室  |
| 4 | 出席者       | 清水潤会長、佐藤和雄副会長、小島俊幸委員、小林豊明委員、小林満子委員<br>坂口益次委員、塩沢憲子委員、清水茂委員、関清美委員、関貞徳委員<br>中沢盛雄委員、花岡静枝委員、前澤幸盛委員、宮下蘭子委員<br>【欠席委員】6名 |
| 5 | 市側出席者     | 笠原センター長 センター全課長、滝沢地域政策係長、宮島主査  |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開  |
| 7 | 傍聴者       | 0人 記者 0人   |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成21年9月2日  |

  

| 協 議 事 項 等 |   |
|-----------|---|
| 1         | 開 会 (佐藤副会長)   |
| 2         | 会長あいさつ (清水会長)   |
| 3         | センター長あいさつ (笠原センター長)   |
| 4         | 報告事項<br>わがまち魅力アップ応援事業 (追加募集分) 審査結果 [資料 - 採択事業一覧表]<br>(清水会長)<br>去る7月27日に審査会が行われ、私と佐藤副会長が出席しました。申請された15件のうち、不採択が4件という結果でした。真田地域の団体から申請された事業は、「目指せ上田城！市民交流行列実行プロジェクト」(同実行委員会)と「地域コミュニティから生まれるストレスに強い上田の元気な子ども育成事業(NPO法人遊び塾 withyou - withme)の2件で、いずれも採択されました。<br>市からの報告事項<br>(1) 図書館建設等について (教育事務所)<br>[資料 - 図書館及本原小プールの完成イメージ図]<br>・ 図書館建設について<br>・ 本原小学校プールの改築について |
| 5         | 会議事項<br>(1) (仮称)真田地域バス運行改善計画について (建設課)<br>[資料 - (仮称)真田地域バス運行改善計画について]<br>(峰村建設課長)<br>真田地域のバス運行については、住民により良いサービスを提供したいとの思いから、真田地域自治センターの職員でプロジェクトチーム(真田地域バス運行改善検討会議)を立ち上げ、そこで検討してきた改善計画を提案します。基本的には現在のバス運行の枠組みを変えず、これを   |

発展させる形で考えました。

- ・「ふれあいバスの運行ルート」の変更 ニーズに応じた地域内路線としての活用。
- ・「バス路線の改善」について 傍陽線を県道矢沢真田線方面に振り替えることはできないか。

この提案については、関係地域への説明、バス会社との協議・調整、運行路線の道路改良の必要性など、今後すべきことや課題が多くあります。これらをクリアして実施を決定した場合には、平成 22年度から試験運行するという計画です。試験運行で効果がでない場合については、その時点で再度検討する必要があると考えます。

(清水会長)

只今の説明に質問・意見はありますか。

関係地域への協議とは具体的にどんなことをする予定ですか。

(峰村建設課長)

まず、近々開催される真田地域の自治会長会で説明します。また、各家庭には隣組回覧等での周知を考えています。

(清水会長)

地域に合意を求めたうえで、決定するとのこと。もう少し議論する余地がある提案かと思いますが、公共交通については第 3 分科会で取り上げている項目ですので、そこで最初に協議いただくということでしょうか。

(全委員)

了承。

(2) まちづくり活動拠点について(事務局)

- ・集計結果について [資料 - 真田地域市民活動団体調査報告書]

(清水会長)

市民団体活動アンケートの結果については、前回の協議会で中間報告しました。

(事務局)

現在、対象 122 団体中、回答団体数は 94 団体です。未提出団体には 8 月に入ってから再度提出をお願いして回答をいただきました。あといくつかの団体から回答する旨の連絡があります。

～ 結果の内容について説明 ～

(事務局)

前回の協議会の時点では、団体名が特定される文章の回答については、文章を少し変更することも必要かとの話もありましたが、団体が特定されないと意味がわからないような要望等が多かったため、あまり変更をしないこととさせていただきます。

なお、アンケートの 8 月末日で回収を打ち切り、回答いただいた団体には、結果をお送りし

たいと思います。

(清水会長)

活動拠点づくりには、ハード面とソフト面があります。アンケート結果を参考に、ハード(施設)面についていかがでしょうか。

各団体は公民館・福祉センター等を使っていて、あまり不便を感じていないという結果ではないでしょうか。

一方、地域協議会としては自治センターの議場等の利用問題。また、以前の協議会では福祉センターの利用についても意見が出されています。これらの解決も含め、今後どのような議論をしていくべきかご意見をお願いします。

アンケート結果を見ただけでは、つかみようがない部分があります。次回の役員会では、この結果を再度検討し、全体会で問題提起したいと思います。これだけ多くの団体からご協力いただいていますので、協議会としてこの結果を有効に活用していきたいと考えます。

(3) その他

(清水会長)

会議事項のその他として、各委員から何かありますか。

(委員)

新型インフルエンザについては、夏という時期でもこんなに発生している状況で、冬には爆発的な発生が予想される。菅平にはスキー修学旅行等で多くの子ども達が訪れるが、それらの中学生・高校生は高い感染率の年齢層とされている。厚生労働省ではワクチン接種の優先順位が議論され始めているが、学校ではクラスに何人かの感染者ができれば、学級閉鎖や行事中止の措置がとられる。感染率の高い子ども達への優先的なワクチン接種をお願いします。

(委員)

菅平には7月から多くの方々が合宿に訪れているが、先日のスポーツ紙で菅平でのインフルエンザ発生が大きく掲載された。現在約40校のキャンセルが出ていて、数億円の損出が見込まれている。冬のスキーシーズンに向けてさらに流行した場合、菅平は壊滅的な打撃を受けることになる。市の対策をお願いしたい。

持ち込まれたものとはいえ、菅平小中学校でも2人の感染が確認されている。菅平の子ども達に優先的なワクチン接種を要望する。

また、非常時には税制面での配慮も検討願いたい。

(会長)

ワクチンの不足、学級閉鎖の問題など深刻な状況が報告されました。行政のインフルエンザ対策をさらに要望します。

5 その他

(佐藤副会長)

次回については、9月24日(木)午後7時からとしたいがいかがでしょうか。

特にご意見なければ、次回の協議会の開催については、9月24日(木)午後7時からとします。

## 6 閉 会

(佐藤副会長)

以上で全体協議を終了します。

このあと、各分科会に分かれ協議していただきます。

協議時間は、概ね9時ごろまでとし、流れ解散とします。

～ 各分科会の会場に移動 ～